

～遠足・学習旅行号～

# Newspace

## 郡山東高校新聞速報版101号

編集・発行 郡山東高等学校新聞部  
発行人 松本 優衣  
編集人 多田野朱理  
〒963-8832 福島県  
郡山市山根町13-45  
電話 024-932-0898

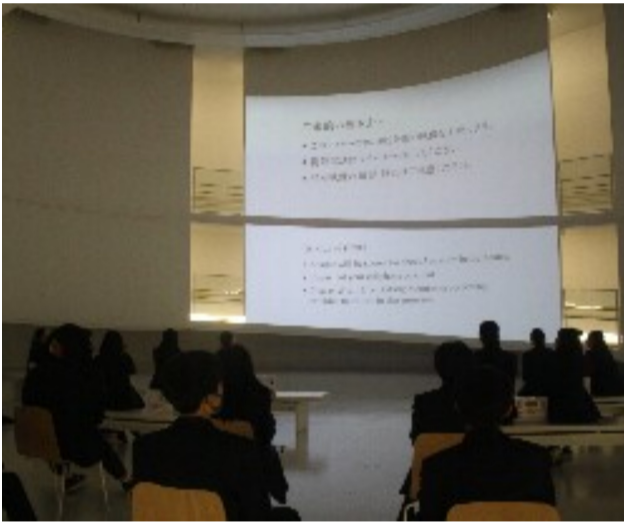
### 楽しい思い出を 作る遠足へ

今年13日1年生の学習旅行、3年生の遠足が行われた。1、3年生ともいわき方面へ出かけた。1年生はSDGsについての学習の一環で、東日本大震災の教訓を伝えている東日本大震災・原子力災害伝承館(以下「伝承館」)に行った。3年生はクアアマリンふくしまやイオンモールいわき小名浜行き、友達と親睦を深め、たくさん思い出を作った。

### 3年生遠足へ

3年生は、いわき市にあるクアアマリンふくしまで、いわき・ラ・ラ・ミュージアム、イオンモールいわき小名浜の三つの場所を楽しんだ。最初に行ったクアアマリンふくしまでは、潮目の海をテーマに約800種の生物が展示されている。館内にはさまざまなコーナーが設置されている。生徒は好きなところを回って友達と写真を撮る人や、お土産に大きなぬいぐるみを買っている人もいた。

その後、クアアマリンふくしまの近くにあるいわき・ラ・ラ・ミュージアムやイオンモールいわき小名浜では、フリードコートで昼食を取ったり、ショッピングをしたりしてそれぞれ楽しんだ。朝から雨が降り続いた。悪天候ではあったが、遠足を楽しむ姿が多く見られた。熊沢朋香さん(3年)は「新しい知識を入れてから行ったクアアマリンふくしまは、小さい頃とは違う楽しさや発見があり、思い出になった」と遠足を振り返った。渡邊悠真さん(3年)は「最後の行事を、みんなと海鮮丼を食べたり思い出を作ったりと充実したものにすることができた」と笑顔で話した。(みなまる)



→(右上から時計回り) 昼食を楽しむ生徒たち。巨大スクリーンに映し出される映像を見学している生徒たち。展示されている写真に興味津々に見る生徒たち。金魚館に展示されている金魚の人形。

→伝承館に展示されている震災当時の消防服



←クアアマリンふくしまで魚を見る生徒

### 1年生学習旅行へ

同じく13日、1年生は探究活動のSDGsに関する学習旅行として、双葉町にある「東日本大震災・原子力災害伝承館」に足を運んだ。目的地に向かうまでの約2時間半、バスの中では友達と会話をしたり、バスガイドの説明を聞いたりして生徒たちは有意義な時間を過ごした。

伝承館に着いてからは2クラスずつに分かれて見学した。「東日本大震災・原子力災害伝承館」は昨年9月にオープンし、原子力災害の記録を継続するために建てられた。生徒たちは最初に「アター」で被災地の震災前から現在までの様子がまとめられた5分間の映像を見た。巨大な7面スクリーンに映し出された映像は生徒たちに強いインパクトを与えた。その後は施設内を各自自由に見学した。

展示の中には、津波によって流されて残った思い出の品、震災の状況が伝わる写真などが並べられていた。また、「東日本大震災・原子力災害伝承館」を撮る生徒たちも多く見られた。語り部による講話では、40分間に渡り実際に震災を経験した方の生の声を聞いた。この語り部の方は冒頭で「伝承館で働いている私たちは2度と原子力災害伝承館はどこにもつくられてほしくない」と思っている。2度と会ってはならない災害だ」と話し、生徒たちも真剣な様子で話を聞いていた。



→伝承館に展示されている震災当時の消防服

### ひと

「憧れを追いかけて」  
弓道部 田代愛里さん(2年)



大会の放送で1位に自分の名前が呼ばれたとき初めて1位だという実感が湧いてきた。中学生の頃にNHKで放送されていた弓道のアニメがあった。そのアニメを見て弓道をする姿がカッコイイと思い、いつの間にか憧れを抱いていた。その影響で入部を決めた。入部して約半年間も難しかった。1年生の3月から今年3月まで、月々弓道を射ることができた。そのために、弓道部員としての練習を毎日行い、1年生の夏休みが終わった頃には弓道部員としての練習が本格化した。的の前に立ち、的の中心に向かって弓を引いたとき楽しさを感じた。的の右側にのぼることに難しかった。意識をしながら射ると、意識がのぼる。自分でも分らないときは、部員からの改善点をもらって実行すると感覚をつかむことができる。悪い癖の理由を理解できれば、直すことができる。大会で優勝した時、大活躍した。この曲はよく大会の移動中に聴いていた。音楽を聴くことで、自分の気持ちを落ち着かせることができる。モチベーションを上げることもできる。毎日の練習では自分の悪い癖を直すことを意識して練習している。(飼育員)



静かに楽しんだ。最後はバスガイドの解説による車窓見学で双葉町の風景をバスの中から眺めた。中には、津波と原発の被害を受けたが今も残されている旧請戸小学校や、復興に向けた工事の様子なども見ることができた。生徒たちは、スマートフォンで海や街の様子を動画や写真で記録に収めていた。(あきこ)

新聞部員募集  
新しいことを始めたい  
文・写真に興味がある  
青春したい人  
初心者も体育会系も！  
男女問わず大歓迎  
私たちと一緒に  
剣ではなくペンで  
戦いませんか？  
さあ君も運動部系文化部へ  
▼マネージメントハウスまで  
遊びに来てください！

→各教室に設置されたWi-Fiルーター

### 東照手記

高校1年生の  
ちようど今頃、  
遠足があった。  
私は友だちと2  
人で回ることに  
なった▼いつも  
は3人で行動し  
ていた私は2人きりの状  
況に緊張を感じた。よく  
考えると彼女のことをあ  
まり知らなかったことに  
も気づいた。彼女は私と  
一緒に回って楽しいのだ  
らうかと考えてしまった。  
当然そんなことをその子  
に話せるわけもなくきこ  
ちないまま当日を迎えた。  
しかし、遠足の予定を確  
認したり、共通の話題で  
盛り上がりたりと予想よ  
りも楽しい時間を過ごせ  
た。水族館やショッピング  
モールを回り充実した  
1日だった▼遠足から  
帰る直前、2人でソフト  
クリームを食べている時  
だった。彼女から相談を  
受けた。彼女が私にブラ  
イベートに踏み込んだ話  
をしてくれたことに私は  
正直なところとてうれ  
しかった。内容はクラス  
のことや、人間関係のこ  
とだった。私は彼女はク  
ラスでもきょうとまやっ  
ているんだらうと勝手に  
思っていた。しかしそれ  
は偏見に過ぎなかった。  
今まで誰にも相談できな  
かった辛さや苦しさは私  
にとっても伝わってきた。  
その時ちょうど私も部活  
や友達関係で少し悩んで  
いたため共感できる部分  
が多かった▼それから、  
私も人になかなか言いつ  
らい悩みを勇気を振り絞っ  
て相談をするようになり、  
彼女と話をすると時間が増  
えていった。ゆっくり  
ではあったがそうした  
時間を経てとても仲が  
良くなっていった。今  
となつては何でも相談で  
きる私の気心の知れた親  
友だ。しかしあの時、遠  
足をきっかけに私が勇気  
を出して自分のことを話  
さなかつたらと思うと少  
し怖い気がする。自分が  
ほんの少しの勇気を出す  
だけで大事な親友ができ  
る可能性があるのならそ  
れにかけてみるのも良いと  
思えた。(しまま)

